



# 令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0145100000	建設総務課	会計	01	一般会計
款	07	土木費	項	01	土木管理費
目	01	土木総務費	事業 1	062	0 1 0 7 0 1 0 1
事業 2	010	土木管理業務費	事業 3	001	土木管理業務費

## 事業の概要

### 1 事業概要[P]

#### (1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・ 目 的
  - ・ 市道の適正管理のため道路管理システム（平成30年度導入）の補正更新を行う。
  - ・ 地籍調査の実施により、公共事業の円滑な推進と防災に強いまちづくりに寄与する。
  - ・ 市民等のボランティアによる美化活動（道路アダプト）を実施することにより、住民参加による美化意識の醸成を図る。
- ・ 内 容 道路を適正に管理するための事務的経費
- ・ SDGs 11 住み続けられるまちづくりを

#### (2) 効果・目標値

- ・ 効 果 道路管理システムの補正更新を行い、地方交付税の適正な収入を維持する。
- ・ 目 標 値 該当なし

#### (3) 根拠法令・計画等

- ・ 根拠法令 道路法、国土調査法
- ・ 計 画 総合計画（基本施策412 快適な道路・駅前広場づくりと地域に愛される公園や緑地の創造）

### 2 全体計画[P]

- ・ 全体計画 事業費 : 159,778千円
- ・ 令和6年度決算 事業費（進捗率）: 37,548千円
- ・ 令和7年度予算 事業費（進捗率）: 44,594千円
- ・ 令和8年度予算 事業費（進捗率）: 38,818千円
- ・ 令和9年度以降 事業費（進捗率）: 38,818千円

### 3 令和6年度・令和7年度の実施内容[D]

- ・ 令和6年度 道路管理システムの補正更新、地籍調査の実施、道路アダプト団体への支援、市有地測量等委託、道路関連情報のデジタル化を推進するため、道路境界確定図等のスキャニング作業を行った。
- ・ 令和7年度 道路管理システムの補正更新、地籍調査の実施、道路アダプト団体への支援、市有地測量等委託、道路関連情報のデジタル化を推進するため、道路境界確定図等の公開等を行う予定。

### 4 事業の自己評価（目標値に対する効果の検証・課題・問題点等）[C]

- ・ 認定市道の道路台帳について適切に補正更新を行い、地方交付税の適切な収入が確保された。
- ・ 境界確定図等のデジタル化を進め、業務の効率化及び市民、事業者の利便性向上を図った。

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0145100000	建設総務課	会計	01	一般会計
款	07	土木費	項	01	土木管理費
目	01	土木総務費	事業 1	062	0 1 0 7 0 1 0 1
事業 2	010	土木管理業務費	事業 3	001	土木管理業務費

5 令和8年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]

- ・認定市道の適切な管理のため、道路管理システムの補正更新を行う。
- ・道路管理システムを活用した業務の効率化及び市民、事業者の利便性向上を目的に、道路関連情報の電子化を進める。
- ・公共事業の円滑な推進と災害発生時の復旧迅速化に寄与すること等を目的に、厚木秦野道路（国道246号バイパス）の本線及びアクセス道路用地の地籍調査を実施する。

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

新東名高速道路築造に伴う機能補償道路の市道認定が令和7年度に概ね完了したことから、機能補償道路分が市道認定作業から削減したため、委託料が減額となった。

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）

- 令和6年度決算 10,388千円（一筆地調査）
- 令和7年度予算 18,788千円（一筆地調査）
- 令和8年度予算 16,644千円（一筆地調査）

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

- ・認定市道の適切な管理のため、道路管理システムの補正更新を定期的に行う。
- ・道路関連情報のデジタル化を進め、道路管理システムを活用した業務の効率化及び市民・事業者の利便性向上を目指す。
- ・公共事業の円滑な推進と災害発生時の復旧迅速化に寄与すること等を目的に厚木秦野道路（国道246号バイパス）のアクセス道路及び本線用地の地籍調査を進める。

8 その他

(1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組

- ・予算計上額（うち一般財源） 10,880千円（10,880千円）
- ・内 容 市道の適正管理のため道路管理システムの補正更新を行う。

(2) 自然災害対策への取組

- ・予算計上額（うち一般財源） 16,644千円（ 4,160千円）
- ・内 容 地籍調査及び道路用地の測量を実施し、管理用地を明確にすることで、災害復旧の迅速化を図り、災害に強いまちづくりに寄与する。

(3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）

- ・効果額（うち一般財源） 千円（ 千円）
- ・内 容 該当なし



# 令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0145100000	建設総務課	会計	01	一般会計
款	07	土木費	項	01	土木管理費
目	01	土木総務費	事業 1	062	0 1 0 7 0 1 0 1
事業 2	030	駅前広場等管理費	事業 3	001	駅前広場等管理費

## 事業の概要

### 1 事業概要[P]

#### (1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 市内4駅の7広場、まほろば大橋等の管理経費及び利便性向上及び賑わい創出
- ・内容 駅前広場及び鉄道と連絡する交通機関利用者の安全及び利便並びに周辺道路との有機的連携による交通の円滑化を図る、秦野駅北口のライトアッププログラム変更、同駅北口ロータリーの路面補修、洪沢駅南口広場の屋根設置
- ・SDGs 9 産業と技術革新の基盤をつくろう  
11 住み続けられるまちづくりを

#### (2) 効果・目標値

- ・効果 毎日、多くの市民が利用する重要な施設であり、安全で快適、清潔な状態を維持する。
- ・目標値 該当なし

#### (3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 道路法、秦野市道路条例、秦野市駅前広場管理条例
- ・計画 総合計画（基本施策412 快適な道路・駅前広場づくりと地域に愛される公園や緑地の創造）

### 2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 : 650,856千円
- ・令和6年度決算 事業費（進捗率）: 155,102千円
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率）: 190,636千円
- ・令和8年度予算 事業費（進捗率）: 152,559千円
- ・令和9年度以降 事業費（進捗率）: 152,559千円

### 3 令和6年度・令和7年度の実施内容[D]

#### ・令和6年度

清掃、監視、昇降機等各種機器の保守点検委託等、管理業務を効率的かつ適正に行うとともに、安全な交通の確保のため、秦野駅北口エスカレーター修繕、秦野駅監視カメラ修繕、駅前広場LED化等を実施した。

#### ・令和7年度

清掃、監視、昇降機等各種機器の保守点検委託等、管理業務を効率的かつ適正に行うとともに、安全な交通の確保のため、秦野駅南口歩廊エレベーター修繕等を実施した。  
また、市制70周年記念事業の一環としてまほろば大橋時計塔及び秦野駅北口ペDESTリアンデッキのライトアップと秦野駅南口においては利用者の利便性を向上するため屋根の設置、同駅北口の交通量調査を実施した。

### 4 事業の自己評価（目標値に対する効果の検証・課題・問題点等）[C]

# 令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0145100000	建設総務課	会計	01	一般会計
款	07	土木費	項	01	土木管理費
目	01	土木総務費	事業 1	062	0 1 0 7 0 1 0 1
事業 2	030	駅前広場等管理費	事業 3	001	駅前広場等管理費

課題：本市の駅前広場は、供用開始から20年以上経過している広場が多く、ペDESTリアンデッキ、昇降機等の施設の経年劣化に対応する必要がある。

- ・ 秦野駅北口広場（昭和56年2月供用開始、平成9年12月にペDESTリアンデッキ完成）
- ・ 秦野駅南口広場（平成9年12月供用開始）
- ・ 渋沢駅北口広場、ペDESTリアンデッキ（平成5年3月供用開始）
- ・ 渋沢駅南口広場（平成19年3月供用開始）
- ・ 東海大学前駅南口広場、ペDESTリアンデッキ（平成20年4月供用開始）
- ・ 東海大学前駅北口EV・ES（令和3年12月供用開始）
- ・ 鶴巻温泉駅北口広場（平成8年6月供用開始）
- ・ 鶴巻温泉駅南口広場、ペDESTリアンデッキ（平成30年6月供用開始）

効果：ライトアップ事業については市制70周年記念事業としてスタートすることができた。

## 5 令和8年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]

- ・ 清掃、監視、昇降機等、各種機器の保守点検委託等の管理業務を適正かつ効率的に行う。
- ・ 老朽化が進む各駅昇降機や秦野駅北口噴水設備の修繕を実施する。
- ・ 渋沢駅南口広場の屋根設置工事を行い利便性向上を図る。
- ・ 各駅前広場に設置された公共交通機関の乗り場に、利用者が待機できるベンチを設置する。
- ・ 秦野駅北口ロータリーの路面状態を改善し、バスなどの通行に支障が出ないように、補修工事を行う。
- ・ 秦野駅北口のライトアッププログラム変更

## 6 要求額の増減理由・根拠[A]

### (1) 増減理由

各駅前広場における利便性向上及び賑わい創出を図るため、LED設置工事が完了したことから、委託料が減額となった。

### (2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）

LED設置委託費用 58,966千円

## 7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

経年劣化が進行していく駅前広場設備の計画的な修繕、更新を実施し、安全で快適、清潔な状態を維持に努める。また、東海大学前駅及び鶴巻温泉駅についても、屋根を設置していく方針である。

## 8 その他

### (1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組

- ・ 予算計上額（うち一般財源） 千円（ 千円）
- ・ 内容 該当なし

### (2) 自然災害対策への取組

- ・ 予算計上額（うち一般財源） 千円（ 千円）

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0145100000	建設総務課	会計	01	一般会計
款	07	土木費	項	01	土木管理費
目	01	土木総務費	事業 1	062	0 1 0 7 0 1 0 1
事業 2	030	駅前広場等管理費	事業 3	001	駅前広場等管理費

- ・内 容 該当なし
- (3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）
  - ・効果額（うち一般財源） 1,336千円（1,336千円）
  - ・内 容 LED導入による電気料金の削減



# 令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0145100000	建設総務課	会計	01	一般会計
款	07	土木費	項	02	道路橋りょう費
目	01	道路橋りょう総務費	事業 1	063	0 1 0 7 0 2 0 1
事業 2	010	未登記道路整理業務費	事業 3	001	未登記道路整理業務費

## 事業の概要

### 1 事業概要[P]

#### (1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 道路敷内の民有地を市に所有権移転登記するために必要な測量、用地買収等を行う。
- ・内容 適正な道路の管理を行うため。
- ・SDGs 11 住み続けられるまちづくりを

#### (2) 効果・目標値

- ・効果 道路内に残ったままの民有地の土地所有権を整理することができる。
- ・目標値 該当なし

#### (3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 該当なし
- ・計画 該当なし

### 2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 : 8,692千円
- ・令和6年度決算 事業費(進捗率) : 531千円
- ・令和7年度予算 事業費(進捗率) : 951千円
- ・令和8年度予算 事業費(進捗率) : 3,605千円
- ・令和9年度以降 事業費(進捗率) : 3,605千円

### 3 令和6年度・令和7年度の取組内容[D]

- ・令和6年度  
道路の境界立会いや市民からの申し出などで判明した未登記道路の整理を行った。
- ・令和7年度  
道路の境界立会いや市民からの申し出などで判明した未登記道路の整理を行った。

### 4 事業の自己評価(目標値に対する効果の検証・課題・問題点等)[C]

様々な事情により道路敷内に残ってしまった民有地を整理することで、公有財産の適正な管理に努めた。

### 5 令和8年度の主な取組(課題解決への取組等)[A]

継続して未登記道路の整理を行う。

### 6 要求額の増減理由・根拠[A]

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0145100000	建設総務課	会計	01	一般会計
款	07	土木費	項	02	道路橋りょう費
目	01	道路橋りょう総務費	事業 1	063	01070201
事業 2	010	未登記道路整理業務費	事業 3	001	未登記道路整理業務費

- (1) 増減理由  
令和7年度に判明した対象地を買収処理及び測量・分筆登記するため、公有財産購入費及び委託費が増額となった。
- (2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）  
令和4年度 測量4件（用地買収実績なし）  
令和5年度 測量4件（用地買収実績なし）  
令和6年度 測量4件（用地買収1件）
- 7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]  
継続して未登記道路の整理を行う。
- 8 その他
- (1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組  
・予算計上額（うち一般財源） 千円（ 千円）  
・内 容 該当なし
- (2) 自然災害対策への取組  
・予算計上額（うち一般財源） 千円（ 千円）  
・内 容 該当なし
- (3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）  
・効果額（うち一般財源） 千円（ 千円）  
・内 容 該当なし



# 令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0145100000	建設総務課	会計	01	一般会計
款	07	土木費	項	03	河川費
目	01	河川総務費	事業 1	068	0 1 0 7 0 3 0 1
事業 2	010	河川管理業務費	事業 3	001	河川管理業務費

## 事業の概要

### 1 事業概要[P]

#### (1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 河川及び水路用地の適切な管理を行う。
- ・内容 河川及び水路の用地を適正に管理するための事務的経費。
- ・SDGs 11 住み続けられるまちづくりを

#### (2) 効果・目標値

- ・効果 河川及び水路に係る用地の明確化が図られる。
- ・目標値 該当なし

#### (3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 河川法、秦野市準用河川条例、秦野市水路の管理等に関する条例
- ・計画 総合計画（基本施策）該当なし

### 2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 : 4,311千円
- ・令和6年度決算 事業費（進捗率） : 929千円
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率） : 1,110千円
- ・令和8年度予算 事業費（進捗率） : 1,136千円
- ・令和9年度以降 事業費（進捗率） : 1,136千円

### 3 令和6年度・令和7年度の実績内容[D]

- ・令和6年度 用地確定等のための測量を実施し、河川及び水路の適切な用地管理を行った。
- ・令和7年度 用地確定等のための測量を実施し、河川及び水路の適切な用地管理を行った。

### 4 事業の自己評価（目標値に対する効果の検証・課題・問題点等）[C]

市内には境界未確定の水路が多く残っているため、継続して取り組む必要がある。

### 5 令和8年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]

河川及び水路の適性な維持管理のため、用地の測量及び整理を行う。

### 6 要求額の増減理由・根拠[A]

#### (1) 増減理由

協議会等の分担金が増額にしたことにより、負担金、補助及び交付金が増額となった。

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月17日

所属	0145100000	建設総務課	会計	01	一般会計
款	07	土木費	項	03	河川費
目	01	河川総務費	事業 1	068	0 1 0 7 0 3 0 1
事業 2	010	河川管理業務費	事業 3	001	河川管理業務費

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）

令和4年度 協議会等分担金 370千円

令和5年度 協議会等分担金 340千円

令和6年度 協議会等分担金 319千円

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

河川及び水路の適性な維持管理のため、用地の測量及び整理を行う。

8 その他

(1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組

・予算計上額（うち一般財源） 千円（ 千円）

・内 容 該当なし

(2) 自然災害対策への取組

・予算計上額（うち一般財源） 368千円（368千円）

・内 容 河川・水路の財産区域を明確にすることで災害復旧の迅速化を図り、  
災害に強いまちづくりに寄与する。

(3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）

・効果額（うち一般財源） 千円（ 千円）

・内 容 該当なし